



進路便り No.9



「後期就業体験」が始まります。

11月7日(月)より「後期就業体験」が始まります。本校には、①「校内実習」②「事業所見学」③「現場実習」の3種類の就業体験があり、今回は「校内実習」と「現場実習」を併せて実施します。

1年生にとっては初めての現場実習になります。初めての経験なので緊張するのは当然ですし、上手いいかないこともあるかもしれません。実習を通して自分の能力や適性について知り、「自己理解」を深めましょう。

2年生は3回目の現場実習です。年明けにある「拡大進路相談」で自分の意見を伝えられるためにも、自分の適性や課題を把握する「自己の課題の探求」をすすめ、進路の方向性のある程度決められるようにしましょう。

3年生は最後の校内実習になります。また卒業後の定着を見据えた現場実習も始まります。「自己実現」に向け、職業や社会生活に対する実践力を身につけましょう。夢の実現まであと少し、みんなでがんばりましょう!

職業準備性ピラミッドについて その②

先月号でも紹介しましたが、みなと高等学園では、企業に「就職する」ことを目指して学習するのではなく、「働く」ことでその人の生活が豊かになり、生き生きとした姿が引き出されることを目的として学習活動を行っています。今回の進路だよりでは、職業準備性ピラミッドのチェック項目をまとめました。

①健康管理 (心と体の健康管理)

- 自分の長所と短所を知っている。
- 感情のコントロールができる。
- 身だしなみが整っている。
- 通院・服薬管理ができる。
- 毎日休まず登校(出勤)できる。
- 嘘や言い訳がなく、素直である。

チェック

②日常生活管理 (生活の自己管理)

- 規則正しい生活習慣が身についている。
- 3食の食事をきちんと摂っている。
- 一人で公共交通機関が利用できる。
- 適切なお金の使い方ができる。

③対人技能 (社会生活能力)

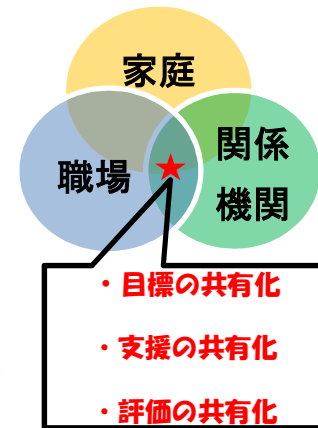
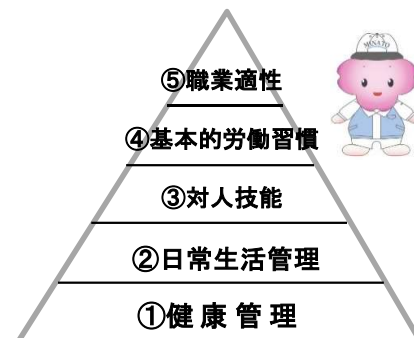
- 指示や指導を素直に受け入れられる。
- 指示を適切に理解することができる。
- 適切な言葉遣いや会話ができる。
- 時間を守って行動ができる。
- 適切な人間関係(トラブルなし)を築ける。

④基本的労働習慣 (働くための基礎的な力)

- 意欲的に仕事に取り組むことができる。
- 人に見られなくとも、真面目に仕事に取り組むことができる。
- 職場のルールを守ることができる。
- 報告・連絡・相談ができる。
- 指示どおりの仕事をするすることができる。

⑤職業適性 (働き続けるための力)

- 毎日同じことを続ける体力がある。
- 自分の仕事にやりがいを感じている。
- 正確に効率よく仕事ができる。
- 支援を受けながら働くことを受け入れている。
- 周囲に対して感謝の気持ちを持っている。



《保護者の皆様へ》
①②の就労の基礎となる土台は、家庭と学校の協力が必要です。担任と連携して現状を把握し、正しい生活習慣を身につけてください。企業の方は、仕事の技術や知識よりも①②の土台の安定を求めています。卒業後の就労が定着するためには、関係機関や職場との連携が基本となります。今のうちから情報を共有し、連携の準備を整えてください。